

マーケティング・集客ツールとしてのオンライン検定 作成手順

目次（手順）

1. オンライン検定の特長を理解する
2. 検定の仕様を決める
3. 合格者登録（入会）の仕様を決める
4. 問題・解答・解説を作る
5. ネット上に上げる

「マーケティング・集客ツールとしてのオンライン検定」の特長を理解する

広がるオンライン検定は、通常によくあるオンライン検定と同じではありません。入口は似ていますが、試験の性質と、出口が異なっています。

	通常によくある オンライン検定	広がる オンライン検定
入口	気軽に受けることができる	気軽に受けることができる
試験の 性質	知識を図る。 問題を読み、回答し、正解か不正 解かを判定するのみ。	<u>情熱</u> を図る。 問題と解説で <u>教育</u> をする。 学びを活かす方法を <u>提案</u> する。
出口	結果（合否や点数）が表示される だけで、その後の展開はない。	合格者が <u>登録（入会）</u> できる仕組 みが用意されている。

両者の比較は上記のようになっています。

言い換えると、「マーケティング・集客ツールとしてのオンライン検定」には、

- 気軽に受けることができる（多くの人を歓迎する）
- 試験を通じて教育をする
- 合格者を次のステップに導く

この3点を押さえた設計が必要です。

検定の仕様を決める

検定の名称	どんな名前にするか。
1回の出題数	1回あたりの出題数を決めます。
設問ストック数	問題のストックを作っておき、毎回ランダムに出題。
出題の順序	出題の順番を決めるか、ランダム出題にするか。
難易度	教育効果が出るような適切な難易度を設定します。
受験料金	有料にするか無料にするか。 有料の場合はいくりに設定するか。
受験申込フォーム	申込フォームを用意するか、申込なしですぐに受験できるようにするか。 用意する場合は、個人情報をどこまで要求するか。
時間制限	時間制限をつけるか、つけないか。
受験回数制限	落ちた人が再挑戦する際のルールを決めます。
配点	1問あたりの配点を決めます。
合格点	合格点を決めます。
予習対策	予習する方法を設定するかどうか。 設定する場合は何を設定するか。
合格特典	合格したら全員もらえる特典を決めます。
アプリケーション	ネット上に上げるためのツールを決めます。

<各項目の内容を決めるポイント>

- 検定を受けてもらう目的
 - 受験者の時間感覚
 - 集めたい受験者の人数規模（少数の熱い人を集めるか、大勢の平均的な人を集めるか）
 - 落ちた人のモチベーションを下げない工夫
- などを考慮に入れて決定します。

合格者登録（＝合格者コミュニティの入会）の仕様を決める

合格者を次のステップに導く流れとして、「合格者登録（入会）」の手続きを用意します。

登録（入会）	登録（入会）を任意にするか、必須にするか。
登録料	有料にするか無料にするか。 有料の場合はいくりに設定するか。
合格者の肩書	どんな名称にするか。
登録フォーム項目	個人情報をどこまで要求するか。
登録特典	合格（入会）したら全員もらえる特典を決めます。

問題・解答・解説を作る

- オンライン検定は、通常、1問1答形式となります。
- 解答のパターンには、「択一形式」「複数選択形式」「マッチング形式」「並び替え形式」があります。
- オンライン検定ですので、記述式を導入することはあまりありません。
- すべての問題に解説をつけます（解説は、正解・不正解の判定後に出す）。

<問題作成のポイント>

- それぞれの問題を通じて伝えたいことを明確にします。

<解答作成のポイント>

- 「気づき」の機会になるような選択肢を考えます。

<解説作成のポイント>

- 解説は、教育効果を出すため、ある程度、充実したものにします。ある程度というのは、解説が少ないと教育効果が出にくく、解説が多すぎると次の問題に進むために読み飛ばされてしまうからです。
- 解説は2種類必要です。1つは、出題された問題そのものの解説。もう1つは、その問題から得た学びを活かす方法の提案です。

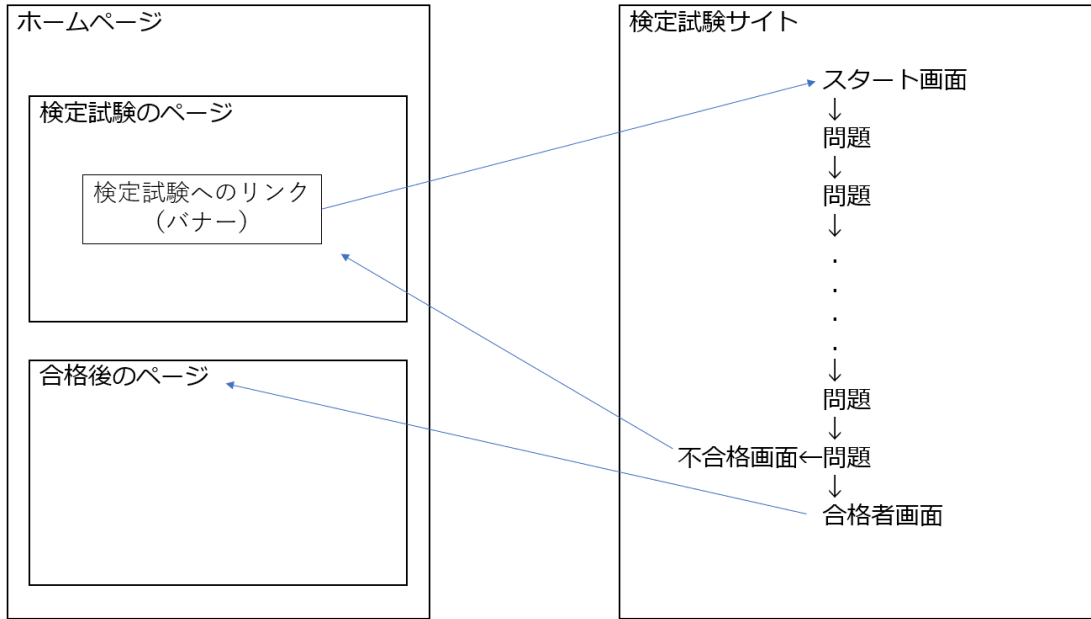
ネット上に上げる

オンライン検定の仕組みをゼロからネット上に作ろうとするのはあまり推奨できません。

時間と費用がかなりかかるからです。

いっぽう、オンライン検定の仕組みを提供しているサービスがいくつかありますので、それらの中から自分に合ったものを選んで使用するとよいでしょう。

自分のホームページを持っている人は、ホームページと検定試験サイトを次ページの図のようにつなぐとよいでしょう。



日本ビジネスモデル鑑定士協会の「検定プロデュース」

問題設計・制作プラン

日本ビジネスモデル鑑定士協会があなたのために、試験問題・解答・解説を作成します。単なる遊びコンテンツではなく、興味や関心に火がともるような、あなただけのコンテンツに仕上げます。

(オンラインシステムへの実装作業は含まれていません)

トータルプロデュースプラン

日本ビジネスモデル鑑定士協会があなたのために

- ① 試験問題・解答・解説を作成し、
- ② システム（アプリケーション）に載せ、
- ③ オンライン検定がすぐに使える形にします。

	問題設計・制作プラン	トータルサポートプラン
試験問題の作成（15問）	○	○
解答・解説の作成	○	○
オンライン化	×	○
料金	165,000 円（消費税込み）	198,000 円（消費税込み）

(料金は途中で改定される場合があります。最新の料金体系については日本ビジネスモデル鑑定士協会のウェブサイトを確認してください)

⇒詳細および申込ページ

<https://www.bzmodel-kanteishi.com/kentei-support/>